

梅津だより 臨時号

平成27年3月18日

本校教育アンケート（後期）の結果より

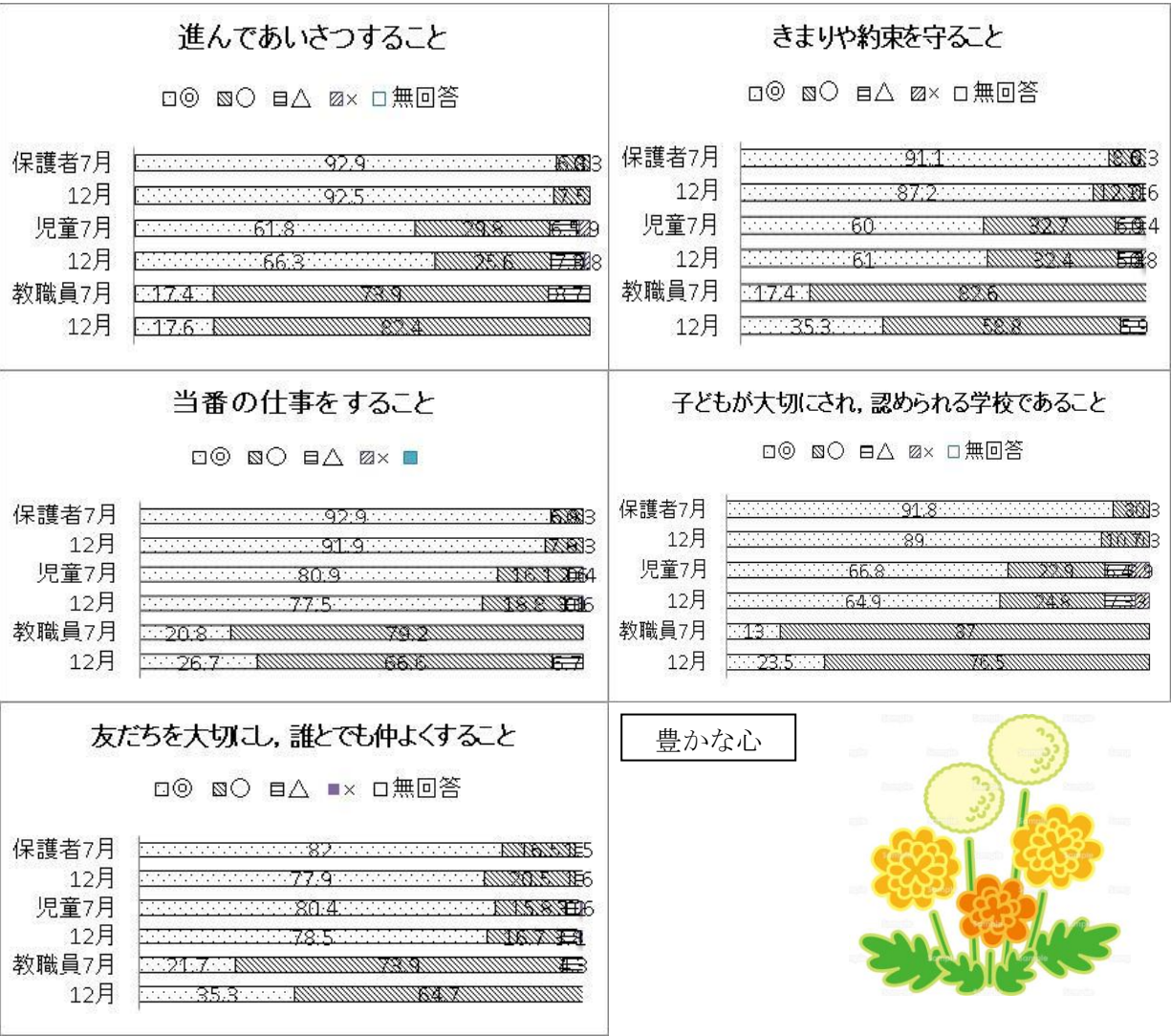
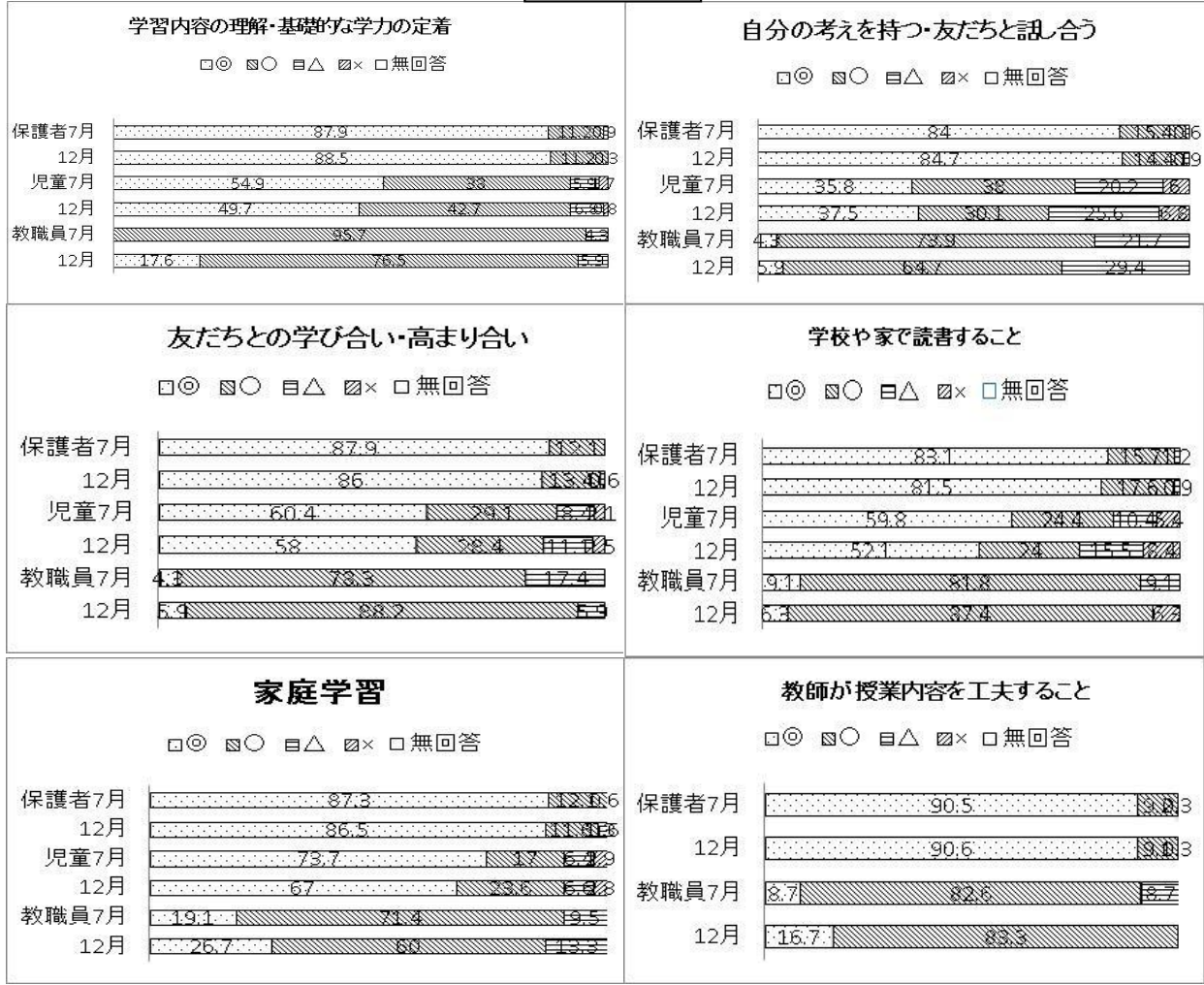
京都市立梅津小学校

校長 若松 秀一

12月に実施しましたアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたので、報告させていただきます。

グラフにつきましては、全て棒の左から◎、○、△、×、無回答で表しています。なお、教職員の回答は、教員以外の職種も含めて集約していますので、「無回答」が生じますことをご了承ください。

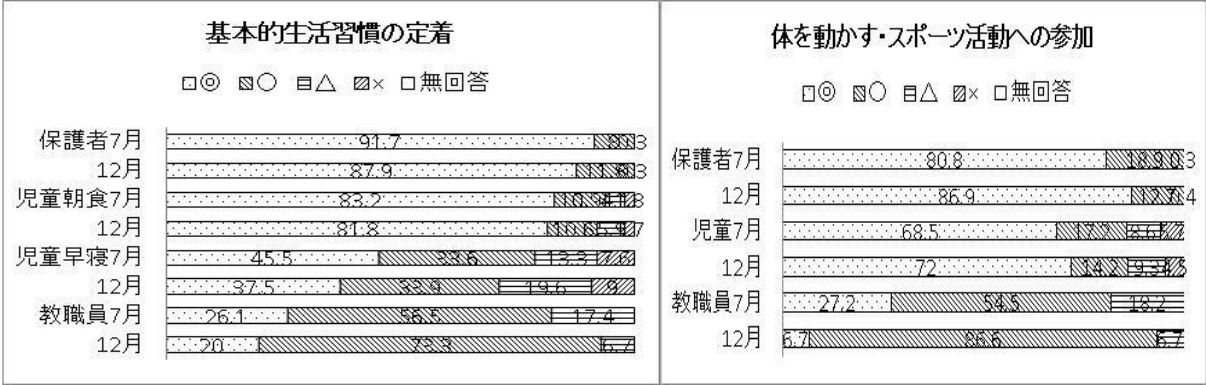
確かな学力



前期に課題として浮かび上がってきた「自分の考えをもち、友だちに伝える」ことは、◎の児童が前期に比べて若干改善していますが、△の児童も増えているので、児童の中にも、得意とする児童と苦手と感じる児童がいることと思います。学級の中で、自分の考えを発表できる学級集団作りに力を注いでいきたいと考えます。本校では、国語科を研究教科として取り組んでいます。本校の児童は、「読む力」にも課題があります。図書館の改装が終わり、本が読みやすい、選びやすい環境が整いました。今後はより一層、学校での読書の時間も確保し、本を読む子・本が好きな子を増やしていきたいと思います。

「あいさつ」はコミュニケーションの基本です。前期に比べて児童は、「進んであいさつすること」ができる実現度が少し高くなっています。今後もあいさつをすることの気持ちよさを大人から発信していきたいと考えます。

健やかな体



基本的な生活習慣では、朝食において、毎日きちんととっている児童が、前期 83.2 ポイントから後期 81.8 ポイントに下がり、「早寝早起き」においては、「できている」児童が前期 45.5 ポイントから 37.5 ポイントに減少しています。逆に「あまりできていない」児童が、13.3 ポイントから 19.6 ポイントに、「できていない」児童が 7.6 ポイントから 9 ポイントに増えています。特に高学年になるほど、早寝早起きができない傾向があります。朝、起きられなくて、集団登校に間に合わない児童もおります。基本的な生活習慣は、学校での学習を支える大切な習慣です。学校では、夏休みと冬休み明けに「生活点検」を行っています。結果は保健便りでお知らせしています。身体測定の時に保健室で、生活習慣についての話もしています。家庭でも、お子達の生活に目をかけていただきますようお願いいたします。

体を動かす・スポーツ活動への参加が前期より増えていることは、よい傾向だと思います。今後も、家庭・地域・学校で子どもたちを見守っていきたいと考えます。

保護者の方より

- ☆いつもあついご指導を有難うございます。今後も愛情をもって子どもたちに善し悪しを教えていただければと思います。
- ☆学校の設備が少しずつきれいになっているのは、とてもうれしく思います。校内美化にもっとたくさんの PTA 方が参加できるようになればいいと思います。（日曜参観の時など）
- ☆保護者がやたらと学校や先生の教育方針に口出しをする傾向があるが、社会に出た子どもにとって理不尽や不満はつきもの。教育者たる責任のなかで個々の教育を貫いてほしい。決して子どもや親をこわがらないでほしい。
- ☆今回のマラソン大会のことで思ったのですが、保護者が、学校のやり方にあれこれ言いすぎだと思います。子どもの可能性（運動・体力面や精神的成長）を親の勝手な思いでなくしているなと思いました。「学校も大変だなあ」と思いました。
- ☆中学校での勉強につながっていくために、高学年になってからの漢字 100 問テストなど、暗記の習慣をつける課題があれば、良いと思います。今の子どもたちは、暗記勉強の仕方を知らないように感じています。
- ☆もう少し、悔しさや闘争心が身に付くように競争させてほしいです。順位などをわからせるのも悪くないと思います。

- ☆競い合うことは大切だと思います。マラソン大会の順位をはっきりつけることに賛成です。今年のマラソン大会は距離が短く、残念でした。
- ☆学年が上がっていくごとに『自分の意見をハッキリと言えるようになる』ということを『思ったことは何でも言ってよい』という受け取り方をすることがあり、勘違いをすることがあるようです。
- ☆ノートを大切に指導してくださっているので、書くことに抵抗がなくなっているように思います。漢字チャレンジなどの取組があり、子どもの意欲づけになっています。普段より、細かいところまで丁寧に書こうという意識が高まり、力もついてきます。
- ☆朝のあいさつ運動を委員会でさせていただいていますが、前よりも子どもたちがあいさつをしてくれるようになりました。これからも挨拶をすることの大切さを教えていってください。
- ☆学年の中でクラスにより宿題量や指導方法の異なりを感じます。ある程度は統一されるのも必要だと思います。
- ☆言葉遣いが適当でない先生の発言が時折あり、先生の言葉に傷ついている。自分が受けた時だけでなく、友だちがきつく言われているときでも傷ついているときがあります。
- ☆学校で教室や図書室での読書の時間があることで、最近分厚めの本を自主的に読むようになってきました。

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。全てを載せることができませんので、一部のご意見をご紹介します。学校での教育活動に対して、いろいろな思いをもっていただいていることを強く感じました。あいさつに関しては、朝のあいさつ運動により、あいさつを返してくれる児童も増え、声も大きくなってきているようです。中には、まだまだ、あいさつのできない児童もいますが、今後とも大人からの地道に声掛けをしていきたいです。

マラソン大会については、たくさんご意見をいただきました。教育課程にそった教育を進めていくことをご了承ください。言葉づかいに関しては、ご指摘をしっかりと受け止め、改善していきたいと思います。「大人を見て子どもは育つ」ことを再確認していきます。

この他にも、いろいろなご意見をいただきました。いただいたご意見は真摯に受け止めていきたいと思います。アンケートは、学校運営に対して、学校がどれだけのことができているかを評価していただくためのものです。良い結果はそれが維持できるように、良くない結果は改善策を講じ、更なる取組を進めていく必要があります。梅津小学校をよりよい学校にしていくために、今後ともご協力をお願い致します。

学校運営協議会からのご意見

- ・今年度、学校運営協議会のメンバーのボランティアと図書支援員のかたとで、図書室の整備を進めてきました。図書室に新しい机と椅子がはいり、書架もわかりやすく整備されました。子どもが楽しく本を読んでいる姿は嬉しいものです。これからも学校と協力して本好きの子どもたちを増やしていきたい。
- ・家庭で見えていくべき事柄（生活習慣、家庭学習等）は、後期の方が悪い評価になっているようです。言葉づかい等、親の姿が子どもに反映することは否めない。子どもがよりよく成長するためにも、保護者の方のより一層の子どもへの目配り、気配りをお願いしたい。